

題材名「日本語の“ん”」

目 標

日本語の「ん」の音を縦軸にして、日本語の過去・現在・近未来を授業する。

コンピュータを活用する利点

インターネット上には、授業実践についてのWEBコンテンツがいくつもアップロードされている。例えば、TOSSランド (<http://www.tos-land.net>) には、1万件を超える授業実践がエントリーされている。これらの先行実践を参考に授業を構成することにした。「万葉仮名」から「COOL JAPAN」まで、本実践で使用した統計資料と画像はすべてインターネットを利用して検索した。

授業の流れ

| |
|---------------------------------|
| しりとり |
| しりとりで、「ん」で終わる言葉を言えば反則負けになるのはなぜか |
| 万葉仮名と「ん」 |
| 日本語にはもともと「ん」の音はなかった。 |
| 中国大陸の言葉と「ん」 |
| 外来語と「ン」 |
| インターネットで、「ん」や「ン」で始まる言葉をさがそう |
| 日本語は、多くの国々の言葉を受け入れつつ発展してきた。 |
| 日本のファッションと「ん」「ン」 |
| 日本のアニメと「ん」「ン」 |
| 日本のポップカルチャーと「ん」「ン」 |
| 日本語の近未来（レポート） |

ICT活用場面

しりとりで、「ん」で終わる言葉を言えば反則負けになる。なぜか。「ん」で始まる日本語がないからである。もともと日本語には、「ん」で始まる言葉どころか、「ん」の音さえなかった。日本語に「ん」の音が使われるようになったのは、漢語をはじめとする中国大陸の言葉の影響が大きい。後の時代には、外来語として「ン」の音も入っている。「ん」や「ン」で始まる日本語がないのは、中国大陸の言葉にも、ヨーロッパの言葉にも「ン」で始まる言葉がなかったからである。

現在、インターネットで検索すれば、百を超える「ん」や「ン」の音で始まる日本語が見つかる。多くはアフリカ大陸を語源とする言葉だ。このように、日本語は、多くの国々の言葉を受け入れつつ発展してきた。

今、世界の若者は日本のことを「COOL JAPAN」と呼ぶ。「COOL」とは「かっこいい」という意味である。日本のマンガやアニメ、ファッションに代表されるポップカルチャーが、世界の若者に支持されている。「ドラゴンボール」や「ドラえもん」などの日本発の「ん（ん）」が世界に発信されている。

成果と課題

例えば、若者向けのファッション雑誌である「non・no」や「an・an」の海外での発行部数など、最先端の情報は本では入手できない。授業で使用したデータは、ほとんどインターネットで検索した。また、万葉仮名から「COOL JAPAN」まで最先端の情報を利用した授業だったので、中学生も興味深く授業に取り組むことができた。

ICT活用環境

| | |
|--------|------------------------|
| 使用周辺機器 | ノートPC、プロジェクター、電子黒板 |
| 使用ソフト名 | SMART Notebook（フリーソフト） |
| 使用教室 | 普通教室、総合教室 |